



### 親子でつくってあそぼう

都立産技高専(非常勤) 吉田喜一

草土文化という出版社で出されている『子どものしあわせ』という月刊誌に、『親子でつくってあそぼう』を技術教育研究会(技教研)の仲間と一緒に50回近く連載しました。技教研は1960年1月に発足し、「憲法、子どもの権利条約の精神に基づいて、国民的立場からひろく技術教育の理論と実際を研究する」ことを目的に掲げて活動している民間の教育研究団体です。小学校、中学校、高校、高専、専修学校、職業訓練期間、大学の教員や、教育学研究者、大学生・院生など、技術・職業教育にかかわる幅広い層の人々が参加して、「小・中・高一貫した技術教育の確立」「公教育としての職業教育の拡充・発展」をめざして教育実践と研究を進めています。

技教研は小中高一貫した技術教育を提唱しています。現在日本の子ども・青年は中学校の技術・家庭科の中で技術を勉強しているだけです。普通教育としての技術教育を小学生にも普通高校の生徒にも施すべきだとカリキュラムも提案しています。美術や音楽の授業がありますが、プロになるための教育をしているわけではありません。国民的素養として学んでいます。普通教育としての技術教育を、技術立国を標榜している日本で子ども・青年に施す必要があると思います。実際には、小学校でも普通高校でも例外的な学校で技術科があるだけです。編集部との打ち合わせの中で、『家庭での技術教育』として『親子でつくってあそぼう』を位置づけよ

うということになりました。当初の連載予定は1、2年でしたが4年間にになりました。雑誌の連載だけではもったいないので、出版してさらに広めようということになりました。

小学生は作って遊び、楽しむだけで十分だと思います。私の所属している高等専門学校の学生と、これらの遊び道具の力学解析を行なってきました。なぜこのような運動をするのか(例えば戻る、振動する)は上の学校に行つて方程式を作つて解くという作業をします。問題はここで終わつてはいけません。これらの原理を使って人の役に立つものを設計する、開発する、そして日本や世界の技術を発展させるということとまで持つていきたいものです。そのスタートとして小さい時から親子でものつくりの経験を沢山して欲しいと思っています。下記のとおりこの本の出版記念を兼ねて講演と実際に作つて遊ぶコーナーも設けました。是非お出でいただければ幸いです。

日時：2012年5月26日(土) 13:17時

場所：工学院大学新宿校舎A514教室

○第一部(13:14時) 開会挨拶、基調講演他【基調講演】

「作る遊びの大切さ」平舘善明(帯広畜産大学)

○第二部(14:17時) ; ワークショップ、感想会、閉会挨拶【ワークショップ担当講師と作成予定素材】

児島高德(愛知県立刈谷東高校) ; スーパーボールですつ飛びロケット、プルー笛など

木下龍(千葉大学教育学部) ; 紙とんぼ、びっくり箱

斉藤武雄(東京学芸大学ほか) ; フライングリング、吹き上げパイプ、大気圧で遊ぶ

吉田喜一(東京都立産業技術高等専門学校) ; 枚羽根紙ブー

メラン、戻るカミヒコキ

※参加費：一般500円、学生・院生無料

会場へのアクセス 新宿駅西口から都庁方面地下通路徒歩5分

で工学院大学新宿校舎に。(都庁方面に向かう地下通路は平行に2本あります。新宿駅を背にして左側の通路をお進み下さい。)

校舎内フロアの黄色い線(中層棟と表示)にそって行くエレベーターがあるので、それに乗り5階へ。降りたら左手に進み、高層棟(教室番号の頭にAが表示)のフロアへ。

http://www.kogakuiin.ac.jp/map/shinjuku/index.html



### 5月の連休・一家で 福島を訪ねて ①

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウ4代目です。今回は、先日の大型連休に、一家で菩提寺のある福島県伊達市を訪ねたお話です。東北新幹線を降りて、レンタカーで田園地帯を



「いつものように」快調に進んで行きます。でも、所々「いつもとは違う」景色に気が付きま

す。薫風爽やかな5月だというのに、水も張られず放置されたままの田んぼ、樹皮を剥がされ

白い幹が痛々しい柿の木…。原発事故の深刻さと、食の安全のために苦心する農家の方々のことを思わずにはいられません。

到着した親戚宅も、米と果樹を栽培する農家です。私が小学生の頃、毎年夏に訪れてはクワガタやセミを捕ったり、池で魚を釣ったり、飼っていた牛や鶏を見たり、従兄弟と遊んだりして思い切り満喫した「心のふるさと」でもありません。幸いなことに、付近は昨年、基準を下回っていたため、今年もいつも通り耕作を行っていました。叔父は、収穫した稲を機械乾燥にせず、手間のかかる天日干しにして、美味しいお米を我が家にくれます。

親戚宅の周りを、早速散歩します。坂を下りていくと、震災で崩れたままになっていた隣家の塀が、修復工事の真っ最中でした。その隣家

の向こうの林の中に、小さな祠があります。足下に、白と黄色のタンポポの花が咲いています。白のタンポポは「オクウスギタンポポ」、黄色のタンポポは「エンズタンポポ」で、どちらも日本在来種の今や珍しい種類です。花の下の「総苞片(そうほうへん)」が反り返っていない点が、南千住でも良く見る「セイヨウタンポポ」との相違点です。去年咲いているのを偶然発見して、とてもうれしかったのを覚えていま

す。今年も同じ場所に、同じようにひっそりと咲いているのが確認でき、ほっとしました。今日、5月4日は祖父の命日です。祖父が大切に育ててきたりんご畑に行くこと、今年もまた、満開の白い花と優しい匂いが私を迎えてくれました。りんご畑から、僅かに見下ろす福島盆地の向こうには、蔵王連峰が霞んで佇んでいます。

【消費生活アドバイザー】 佐藤 祐一郎



■夏の節電対策「早朝営業」今年も実施予定です ■ 電力不足に鑑み、昨夏実施し大変ご好評を頂きました「早朝営業」を、今夏も実施予定です。早朝営業中にご来店のお客さまには「エコ特典」を考えております。詳細が決まり次第、本紙・折り込み広告等でご案内致します。 ※私は、原発再稼働は慎重にあるべきと考えます。

#### ◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13【コッ通り】 電話03(3806)4930

★休業日のごあんない(不定休です)★ ※6月2日(土)までは、休まず営業いたします。

6月: 3(日)、12・19(火)、27(水)

★営業時間のごあんない★ 平日(月~金): AM9時30分~PM7時

土・日・祝日: AM10時30分~PM6時